

# 伊勢市地域自立支援協議会 活動報告（平成25年度）

## 【課題別検討チーム 「いきいき」チーム】

地域の 実情 ニーズ	<p><b>①「各関係機関の役割・連携図の作成検討」:</b> ・障害のある方の就労を進展させていくためには、就労支援を行う各機関が、それぞれの役割を理解し、しっかりと連携を図っていくことが必須です。ただ、ご本人への周知の面でも、また支援者間でも、理解不足であったりする現状の中で、効果的な連携が図れていない面があるのではないかと検討されました。</p> <p><b>②「就労関係機関との情報交換会」:</b> ・地域の就労支援を行う身近な事業である市内B型事業所等の現状を把握することが、地域の実情を知るうえで必要であり、その状況を踏まえた検討を行うために、情報交換会を開催しました。 ・その中で、市内B型事業所の現状は、就労支援よりも居場所提供的な要素への比重が高くなってきており、就労支援は展開しにくい現状にあることが浮き彫りになりました。</p> <p><b>③「アセスメントシート統一へ向けた検討」:</b> ・就労へ向かっていく力を高める支援させて頂く上では、ご本人の希望や能力や必要な支援の把握(アセスメント)が必要であり、またその把握された事柄を、各就労支援機関が共通して把握できることが、就労支援の進展に有効であると思われます。ただ、現状としては、各就労支援機関がバラバラに取り組んでいる状況であり、共有を図る仕組みの検討が必要ではないかと話し合われました。</p> <p><b>④「職業体験機会の創出への検討」:</b> ・ご本人が就労に必要な事柄や支援を自ら体感するため、あるいは会社や支援者が必要な支援を理解するために、仕事を体験(実習)できることは有効ですが、現状利用しやすい実習の為の制度が不足している状況があると思われれます。</p> <p><b>⑤「障害者計画・障害福祉計画」:</b> 行政において障害福祉計画、障害者保健福祉計画(今後の伊勢市における障害福祉施策やサービスについての計画)の見直しが予定されている状況であるため、意見検討を行ってきました。</p>
チーム での 検討提案 内容	<p><b>①「各関係機関の役割・連携図の作成検討」:</b> ・まずは関係者が現状を理解するために、就労に至るまでの経過の中で、各就労支援機関がそれぞれの役割を理解し、効果的な連携を行いながら就労支援を進めていくための連携図の作成を検討してきました。</p> <p><b>②「就労関係機関との情報交換会」:</b> ・上記情報交換会での状況を踏まえ、今後に必要な取り組みの検討を行っていく状況です。</p> <p><b>③「アセスメントシート統一へ向けた検討」:</b> ・各就労支援機関が効果的な連携を図り就労支援を進展させるために、まず各B型事業所で使用している把握を行うためのアセスメントの用紙について、必要項目等の共通化を図っていくことを検討しています。</p> <p><b>④「職業体験機会の創出への検討」:</b> ・他市町での独自実習制度の状況も参考にしながら、必要な取り組みについて具体的な検討を行っています。</p> <p><b>⑤「障害者計画・障害福祉計画」:</b> ・今後の伊勢市における障害福祉施策やサービスについての計画の策定において、しっかりと現状のニーズを反映させるための検討を行っています。</p>
今後 について	<p><b>①「各関係機関の役割・連携図の作成検討」:</b> ・今回の連携図の作成を踏まえ、各就労支援機関の効果的な連携を深めるため、その他の取り組みについてさらに検討をしていきます。</p> <p><b>②「就労関係機関との情報交換会」:</b> ・今回の情報交換会を、今後はB型事業所以外も含めた各就労支援機関との連携会議へと拡大していくかの検討を行っていく予定です。</p> <p><b>③「アセスメントシート統一へ向けた検討」:</b> ・アセスメントの必要項目等の共通化を図っていく取り組みを継続して行きます。その中で、各就労支援機関の効果的な連携のあり方、最終的には障害をお持ちの方の利益になるための取り組みを検討して行きます。</p> <p><b>④「職業体験機会の創出への検討」:</b> ・伊勢市独自での実習制度の必要性やあり方について、具体的な検討を進めていく予定です。</p> <p><b>⑤「障害者計画・障害福祉計画」:</b> ・計画策定の経過の中で、随時現場に即した必要な意見を上部会議(本会)に挙げていく役割を担っていく予定です。</p>